



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第2巻第4号) 編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第2巻第4号) 編集後記・購読要項・投稿内規
. 泌尿器科紀要 1956, 2(4): 243-243

ISSUE DATE:

1956-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111129>

RIGHT:

泌尿器科紀要

第 2 卷 第 4 号

昭和 31 年 7 月

随想 日本医師会のこと	市川篤二	181
淋菌性及び非淋菌性尿道炎に関する研究		
第Ⅰ篇 淋疾の抗ペニシリン性と潜伏期間に関する実験的研究	新谷浩	183
成人腎線維肉腫の 1 例並に泌尿生殖器系の肉腫について	加藤篤二・仁平寛巳・酒徳治三郎	190
鎖肛治験例	百瀬剛一・吉田道	195
腺腫内に精液滯留像及び間質内精子侵入像の見られた 前立腺肥大症の 1 例	武田正雄	200
死の転帰をとれる膀胱頂部腺癌の 1 例(尿管腫瘍に関する考察)	朝田康夫	203
陰茎に見られた興味ある良性腫瘍の 3 例	生駒文彦	207
Leucomycin の尿道炎に対する効果	重松俊・松浦省三・北村定治	213
Depropanex による尿管結石の自然排出	齊藤利秋・石井義人	217
テトラシンによる尿路感染症の治験	稲田務・新谷浩・日野豪	221
昭和30年度京大泌尿器科患者の統計的観察	稲田務・他	227
第 5 回中部地方会抄録		234
編集後記, 購読要項, 投稿内規		243

Studies on Gonococcal and Non-gonococcal Urethritis.

Report II: Experimental Studies on Penicillin-resistance and Incubation of Gonorrhea.	H. Shintani	183
Fibrosarcoma of Adult Kidney: Report of a Case and Review of the Genito-Urinary Sarcoma at our Clinic.	T. Kato, H. Nihira and J. Sakatoku	190
A Case of Atresia Ani Vesicalis	G. Momose and O. Yoshida	195
A Case of Sperma Retention in the Glandular Lumen and Sperma Invasion in the Interstitial Tissue of the Prostate is Presented.	M. Takeda	200
Mucinous Adenocarcinoma of Bladder dome: Report of a Case and Review of Urachal Tumors.	Y. Asada	203
Three Cases of Benign Penis Tumor.	F. Ikoma	207
Studies on the Successful Application of Leucomycin for Urethritis.	S. Shigematsu, S. Matsuura and S. Kitamura	213
Spontaneous Discharge of Ureter-stone by Application of Depropanex.	T. Saito and Y. Ishii	217
Treatment of Urological Diseases with Tetracycline.	T. Inada, H. Shintani and T. Hino	221
Statistical Investigation on Patients, Operations and Main Urological Examinations in Department of Urology, Kyoto University in 1955.	T. Inada et al.	227
Society Transactions		234

京都大学医学部泌尿器科教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Japan.

泌尿紀要

Acta Urol.

日本皮膚科学会 第七回中部連合地方会
日本泌尿器科学会

泌 尿 器 科 の 部 案 内

時：昭和31年11月3日(土) 文化の日 自午前8時30分
至午後5時

所：京大外科講堂

演 題 申 込：

締切：昭和31年9月15日(厳守)

申込先：京都市左京区聖護院川原町53 京都大学医学部泌尿器科教室 大森孝郎宛

- 1) 演説時間は7分以内、演者名に○印をつけ 200字以内の抄録を附して書留便にて御申込下さい。
- 2) 2題以上提出の場合は希望順位を御知らせ下さい。
- 3) 図表はすべてライカ版スライドを準備願います。
- 4) 演題多数の場合撰択は当方に御一任下さい。

特 別 講 演：

- | | | | |
|----------------------|--------|----|-----|
| 1) 泌尿器科X線検査に於ける最近の経験 | 京大助教授 | 後藤 | 薫君 |
| 2) 尿路結石に関する二、三の問題 | 三重医大教授 | 矢野 | 登君 |
| 3) 男子性器結核の研究 | 岐阜医大教授 | 近藤 | 厚君 |
| 4) 水腎の機能回復について | 名市大教授 | 岡 | 直友君 |

学 術 映 画：

American Cancer Society 提供； Cancer of the Prostate

懇 親 会：学会終了後、四条大橋西詰 東華菜館、会費 700円。

最近経験せる2例の稀な陰茎淋巴管拡張症の症例を報告して之に若干の考察を加えた。本症は陰茎冠状溝に限局して硬く静脈瘤様に不正蛇行し僅に隆起す。何れも2回の穿刺に依り此の隆起は消失したが、穿刺液

の性状は末梢淋巴液の性状と同一であるので、恐らく機械的刺戟に依つて局所の淋巴管のみが閉塞し、それより末梢部の淋巴管が拡張して惹起されたものであらうと思われる。

編 集 後 記

北大皮科岩下教授の後任として同教室の三浦祐晶氏が就任せられた。



第7回中部連合地方会は来る11月3日京都大学にて開催の予定であり、詳細は追つて発表する。



本誌前号に巻頭文として綜説を掲載し、本号には市川教授の随想をかけた。之は肩の凝らない気楽な文章を以てし、今後も続けてゆくつもりである。



専門医制度が漸く問題となつて来た。今迄のところ主として医師会、学会及び厚生省の間で論議せられている様であるが、専門医を養成する主な機関は大学であり、又大学院制度との関係も重大であるから、文部省や大学医学部もこの問題に深い関係を有する事が考えられねばならぬ。

尚泌尿器科としては皮膚科との関連に於て問題がある。例えば泌科が独立している機関で修業した者は泌科だけの専門医になるが、泌科と皮科とが分離せずに一つの機関となつている所で修業した者は泌科と皮科の両方の専門医となるとするならば、不合理な点がある様に思われる。之らの事柄が慎重に検討せられる必要がある。

購 読 要 項

1. 発行は隔月（年6回）とする。
2. 会員は年間料金600円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都4772番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は本会々員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要,1:110, 昭30. Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行方が希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院京都大学病院泌尿器科紀要編集部。